



パラオの子どもたちも…

パラオの小学校では、幼稚園生から8年生（日本の中学2年生相当）までが同じ校舎で生活しています。人数の多い学校だと全校で600人ほど、少ない学校だと10人ほどと規模の違いはありますが、昼休みになると幼稚園生から8年生までが体育館にごった返し、とてもにぎわっています。そういった学校のシステムもあってか、パラオの子どもたちはとても面倒見がいいです。高学年だけではなく低学年の子どもたちも自分より小さい子たちにはとても優しく面倒を見てくれます。先生が自分の子ども（未就学児）を学校に連れてくることも多いので、そういった時には一緒に遊んだり、上手に小さい子をあやしたりする場面も見られます。また、行事などでは8年生がファシリテーターとして低学年向けのイベントを行うこともあります。

日本の学校でも学年が上がるにつれて『先輩』と言われることが増え、行事などではまとめたり、お手本として見られる立場になりますが、これはパラオの学校でも同じなんだなあ～と感じています。先輩として立ち振る舞いと言われると難しく感じますが、思いやりをもって接したり、頑張っている姿を見せるだけで、きっと後輩たちは見てくれているはずですよ。

👉 Family dayのイベントにて。
黒いTシャツを着ているのが8年生です。



【パラオ日記】

★パラオでは11月23日にThanksgiving Day、24日にFamily Dayという家族で過ごすイベントがありました。Thanksgiving Dayには同僚の家でターキーをFamily Dayには友人のホストファミリーの家に招いていただき、パラオの郷土料理をごちそうになりました！カニやお刺身、季節限定で食べられるカメのお肉も…。中でも、カニとココナッツのスープが絶品でした！



👉 カメ肉は少しくセがあるものの豚肉に似た味で、美味しかったです。ターキーと一緒にコレクションもさせていただきました！

★Family Dayにちなんで、各学校では親子で参加できるイベントが開催されていました。コロール小学校では、朝5時半に子どもたちと保護者が陸上競技場に集まり、病院まで往復約5キロのマラソン（ウォーキング）、その後は全校が4つのチームに分かれて点数を競う運動会のようなイベントも。先生方は朝の4時頃から出勤して準備をしていたそうです。



👉 パラオではイベントでチーム分けをするとき、チームカラーを決めて、その色のTシャツを着てくることが多いです。